

令和3年度難聴児の切れ目ない支援体制構築と更なる支援の推進に向けた 地区別研究協議会

<講義10-3資料>

聴覚障害のある当事者の視点による難聴児の早期支援体制への期待

講師 NPO 法人つくし 副理事長 渡邊謙二

1. はじめに(自己紹介)

①聴覚障害のある当事者の立場

地域福祉を大学、大学院で学んだ後、聴覚・ろう重複児・者の支援に関わる

②福祉の支援者の立場

NPO 法人つくし 福祉の支援者

NPO 法人つくし

沿革 『きこえない子どもたちが安心して過ごせる居場所がほしい』

1996年:つくしの会結成(親御さん、学校教員、手話関係者と一緒に活動開始)

2003年:NPO 法人つくし設立(福祉サービス事業を開始)

目的 聴覚障害児・者またはろう重複障害児・者とその家族に対して福祉サービスの諸事業を行う。これらの事業はコミュニケーション環境の整備を図ることによって、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ地域で生活を営むことができるように支援する。また利用者の生涯にわたって、自立と社会参加・活動 を実現するためのあらゆる支援を行う。

各地の拠点づくり

『ひとりぼっちのきこえない子どもの家族をなくそう』

2005年 第1回東海聴覚・ろう重複児・者家族セミナーをきっかけに本格的に開始

各地に聴覚・ろう重複の子どもたちの遊び場、家族の話し合いの場を定期的に開催

現在の活動

三重県と愛知県下に12事業所(福祉サービス事業)

その内5事業所は「聴覚・ろう重複の子どものデイサービス」を運営(2021年10月時点)

利用者:485名(2021年5月時点)

(子どものデイサービス等利用者:

3歳未満4名、3～5歳37名、小学生135名、中高生71名)

2. 聴覚・ろう重複の子どものデイサービスとは

児童福祉法に基づく「児童発達支援・放課後等デイサービス事業」

NPO 法人つくしでは 5 事業所で実施

⇒聴覚・ろう重複センター「ひまわり」(三重県・津市)を例に活動の紹介

「ひまわり」はどんなところ？

- ・放課後や長期休暇期間に、きこえない子どもたちが集まって一緒に公園で遊んだり、宿題をしたり、おしゃべりして楽しく過ごせる場所(家庭の第二の居場所)
- ・学校、自宅などへ送迎も行う

「ひまわり」を利用する子どもたち

- ・乳幼児から高等部 3 年生まで
- ・どの市町村に住んでいてもデイサービスをご利用できる
※利用するにあたって、障害児通所支援受給者証が必要

「ひまわり」を利用するきっかけ

・親御さんの口コミ、聾学校、相談支援事業所、療育センターからの紹介から
(背景)・聾学校の幼稚部は午前中まで

- ・地域の幼稚園・保育園は、安心して預けられない
- ・聾学校の校区が非常に広域のため、送り迎えの負担が大きい等

⇒聾学校の幼稚部に入った頃から、デイサービスを利用し始めることが多い

⇒ご家族の方が、ひまわりにお子さんを預けることで...

- ・少しのゆとりを持つことができる
- ・仕事や用事などを行うことができる
- ・学校までの送迎の負担が軽くなる

「ひまわり」で大事にしていること

- ・同じきこえない、年齢が違う子どもたちが 集まる場であることは…
 - ・自主性・協調性を高める
 - ・自分たちで話し合い、考える経験
 - ・お兄さん・お姉さんとしての役割
 - ・年下の子にとってはロールモデル
- ・きこえないスタッフ・手話のできるスタッフを配置
『感じる、見つめる、認める』を大切にコミュニケーションや情報保障を行う

多くの人に出会って～子どもたちの成長を感じる日々～

- ・「おーい、わたなべさん!」:きこえないスタッフの後ろから名前を呼ぶ
- ・「どうしてきこえないの?」:聴覚障害の認識
- ・特別支援学校(知的障害)に通う ろう重複の子ども:友達やスタッフの身ぶりや手話等を使う
デイサービスの中で A さんは見て見まねで手話を表現するようになる
- ・ろうスタッフに進路相談
- ・外国籍の保護者対象の手話教室開催

3. 今後の課題

ことばの後ろにある気持ちと向き合うことは、とても大切なことである

『心の土台づくり』(ことばをゆたかに)

⇒ 実現するためには、地域の人材と社会資源を積極的に活用

全国的に、聴覚・ろう重複の子どものデイサービス等の社会資源の充実を…

今後の「全国ろう重複児施設協議会」の役割(2015年～)

1. 教育、医療機関や福祉施設等と連携しつつ、聴覚・ろう重複児の居場所づくり、
集団保障の意義を広く啓発すること
2. 教育機関や福祉施設等に関わる人たちと協働して、全国に聴覚・ろう重複児の施設
を創設していくこと
3. 協議会として、支援の質向上、地域連携の模索などについて研究・研修を行うこと

(参考)2021年度全国聴覚・ろう重複障害児施設協議会加盟団体

URL : <https://tukusi.org/pdf/zenrouji2021-1.pdf>

当事者を中心に 福祉、教育、医療関係者の連携し、
みんなで考え、みんなできこえない子どもたちが安心して通える居場所づくりを。